

液体肥料一覽



【液状複合肥料】 注:成分量は、(財)日本肥糧検定協会の分析結果による。

名称 (登録番号)	登録保証値 N-P-K	成分量(%)			その他の成分量(%)	比重	pH	製品の特性・効果
		窒素	リン酸	加里				
アグロ1号 (輸第6366号)	18-2-3	アンモニア性窒素 4.25 硝酸性窒素 3.28	水溶性リン酸 2.27	水溶性加里 3.77	マンガン 0.17 鉄 0.81 銅 0.14 亜鉛 0.10	1.27	3.9	硝酸性窒素が高く即効性があり、植物の速やかで健全な育成を図ることができる。
アグロ2号 (輸第6367号)	10-8-5	アンモニア性窒素 6.06	水溶性リン酸 8.54	水溶性加里 5.12	マグネシウム 1.67 マンガン 0.59 ほう素 0.36 鉄 1.03 銅 0.23 亜鉛 0.10	1.38	2.7	微量元素は吸収しやすいイオン態で含まれ、バランス良く配合されている。成長、開花、成熟という一連の成長過程全般に高い効果あり。
アグロマイティ (輸第6930号)	5-5-5	アンモニア性窒素 2.43 硝酸性窒素 1.17	水溶性リン酸 5.16	水溶性加里 5.09	鉄 1.19 銅 0.15 モリブデン 0.18 コバルト 0.17	1.23	4.2	乾燥時を中心に年間を通して使われる。適応植物は草花も含め多岐にわたる。モリブデン、コバルトを含み、特に根粒菌を持つ牧草及びマメ科植物には効果大。
アグロH (輸第6369号)	6-11-6	アンモニア性窒素 4.15 硝酸性窒素 0.80	水溶性リン酸 11.10	水溶性加里 6.34	マグネシウム 1.32 マンガン 0.74 ほう素 0.43 鉄 1.31 銅 0.10 亜鉛 0.10 硫黄 0.52	1.37	2.9	微量元素は吸収しやすいイオン態で含まれ、バランス良く配合されている。分けつ、根の発育に効果大。特にリン酸吸収係数の高い土壌で有効。
アグロK (輸第6371号)	1-0-10	アンモニア性窒素 0.54		水溶性加里 11.74		1.16	5.9	寒・干害や病虫害への抵抗力を高める。40以上もの酵素生成に関与し、養分の吸収率を高める。特に葉面散布での施肥が有効。
アグロトラスト (輸第7743号)	12-3-9	アンモニア性窒素 0.79 硝酸性窒素 1.26	水溶性リン酸 3.06	水溶性加里 9.00	鉄 0.41 マグネシウム 0.24 銅 0.11 亜鉛 0.10 マンガン 0.32 ほう素 0.35	1.33	4.8	シバの葉分析に応じて理想的な4:1:3。微量元素も豊富に含まれており、適応範囲の広いオールラウンドな液肥。
アグロハーディー (輸第7966号)	1-0-12	硝酸性窒素 0.75		水溶性加里 12.17	マグネシウム 1.84 マンガン 0.51 ほう素 0.33 鉄 0.48	1.34	3.8	即効性のカリに微量元素を加えており、耐寒性を高めるのに大変効果的。窒素分の高い液肥やコンバットなどとの混用が有効。
マイクロフィースト (輸第9718号)	5-3-3	硝酸性窒素 2.20	水溶性リン酸 4.60	水溶性加里 3.30	マンガン 0.048 鉄 0.17 銅 0.009 亜鉛 0.047	1.37	3.3	葉面散布では、植物体内の糖レベルを上げることができ、土壌施肥では、土壌の微生物の活性化を図ります。
アップテイク (輸第12343号)	3-20-17	アンモニア性窒素 1.03	水溶性リン酸 21.32	水溶性加里 18.17	ほう素 0.021 銅 0.05 モリブデン 0.001 コバルト 0.009	1.38	7.1	亜リン酸と加里の成分が高く、吸収が早く即効性です。微量元素も含んでおり、発根、分けつを促進し病害への抵抗力を高める。
アグロファイト (輸第12342号)	1-26-24		水溶性リン酸 27.02	水溶性加里 24.81		1.47	6.6	亜リン酸と加里に特化した液肥で、光合成能力を高め様々な酵素の合成に役立つ。また発根、分けつと耐病性には高い効果がある。
アグロキャップ (輸第12891号)	7-2.8-0	硝酸性窒素 4.9	水溶性リン酸 2.8		水溶性カルシウム 6.0	1.33	1.0	一般的に混合散布するのが難しいリン酸とカルシウムを同時に施用出来る。また、硝酸性窒素が高く即効性である。

【活力剤】 注:成分量は、米国メーカーの分析結果による。

名称	成分量(%)	その他の成分量(%)	比重	pH	製品の特性・効果
コンバット (キレート)	1-0-2	鉄 5 硫黄 1 マンガン 1 亜鉛 1 銅 0.13 ほう素 0.16	1.43	3.0	微量元素を中心とし、他の液肥と混用することで高い相乗効果あり。年間を通して散布でき回復促進、病虫害への抵抗力強化などに抜群の効果あり。

【液状単体肥料】

ケイ酸 (コンプレックス)	0-0-0+Si	ケイ酸 3	1.16	12.3	細胞壁の構造を強化し、葉茎を丈夫にする。特に、イネ科、単子葉植物には効果大。成分は可給態で即効性あり。
カルシウム (キレート)	1-0-0+Ca	カルシウム 5	1.29	1.0	立ち枯れ、奇形等を防ぎ耐病性のある健全な植物の育成に役立つ。リン酸肥料との混用も有効。
マグネシウム (キレート)	1-0-0+Mg	マグネシウム 5	1.23	0.6	葉緑素の中心元素。新しい植物細胞を造るための新陳代謝を促進する。他の液肥との混用が有効。
鉄 (キレート)	1-0-2+Fe	鉄 5	1.34	2.7	葉緑素の形成に関与し、多くの酵素の構成要素でもある。鉄の吸収効果を高めるためにカリを配合。
硫黄 (コンプレックス)	12-0-0+S	硫黄 22	1.30	5.4	タンパク質の合成に関与する。pH調整により雑草の抑制効果もあり。マメ科植物の根粒形成に役立つ。
マンガン (キレート)	1-0-0+Mn	マンガン 5	1.25	1.4	他の液肥との混用が有効。光合成に役立つ。特に柑橘類の植物には重要。
亜鉛 (キレート)	1-0-0+Zn	亜鉛 5	1.26	1.2	他の液肥との混用が有効。特に柑橘類の植物には重要。
銅 (キレート)	1-0-0+Cu	銅 5	1.23	1.3	チトクロームなど多くの酵素の構成元素で、酸化還元反応や呼吸タンパク代謝に関係する。欠乏すると光合成作用が衰える。

【使用上の注意】

1. 原材料は天然物質に由来しますので、保存環境などにより、まれに沈澱、結晶、変色などを起こす場合がありますが、成分に影響はありません。また、保存に適した温度は室温です。低温下での保存はお避け下さい。
2. 他の液肥、農薬との混合はほとんどのものと可能ですが、念のため、事前にコップなどで混合テストを行うことをお勧めします。
3. 他の剤と混合する場合は、必ず水の中で行って下さい。原液どうしは混ぜないで下さい。化学反応を起こすことがあります。



バイコール社ホームページ URL : <http://www.baicor.com>

2011年度版

その他 アグロ3号(5-5-5) アグロP(4-12-0) 腐植酸(0-0-0+6) ほう素(1-0-0+3) モリブデン(1-0-0+3) コバルト(1-0-0+3) フォーリアフレンド(界面活性剤&土壌浸透剤) ソイルスティミュレーター(9-0-0+Ca5+α) プラントスティミュレーター(3-0-0+α) マイクロリッチ(1-1-1+微生物代謝物質) その他